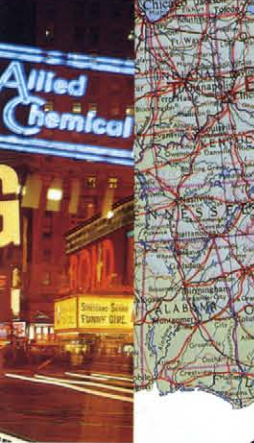


トラベリング・バンドだ。

ビートルズの解散コンサートは、寒そうな屋上だった。僕らのステージを捜しにいこうよ。ポータサウンドをつけて。



WALTZ

ザラストワルツというLPを残して解散したグループもあった。雨の日は、スローなワルツだ。

ROCK

ロックは、僕らの生きているリズムと同じではないか。ハイウェイをいざここく。

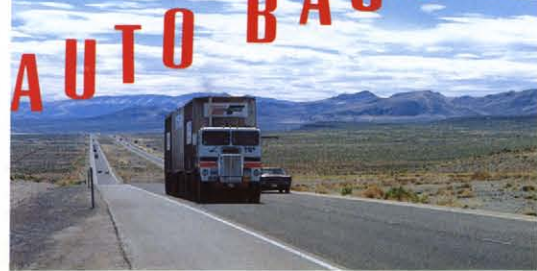
SWING

ミディアムテンポで弾いてこらん。アドリブとかインプロビゼーションが象のようにおいてくるといいね。

LATIN

きみの情熱を音楽にたくして誰かに伝えたいと思ったらラテンのリズムを感じたぞ。

ポータサウンドはオートマチック車だ。オートベースコードが自由自在に自動伴奏でプレイをバックアップしてくれる。まるでハンドルだけを操作すればクルマが快適に走ってくれるように。右手でメロイのパートに集中すればいい。とところで、真っ赤なアム車でハイウェイを走ってみたいね。



Organ

ニューヨークの裏街。さびた鉄階段。こんな風景に出会ったら、オルガンでソウルっぽくやる。気分だね。

Brass

管楽器は、男か女かと考えてみると、やっぱり男だ。ぬくもりがある。優しさがある。

見かけはちょっと小柄でも音はクリア&パワフルで迫る。ヤマハが新しく開発した高性能スピーカーがその秘密だ。

Flute

EL CONDOR PASA。コンドルはどこに飛んでいったのか。フォルローレっていいなあ。

このポータブルなボディにオートベースコードまでついている。たった指1本で和音の伴奏が自動的につけられる。こんな楽しいキーボードがあったらどうか。シングルファンガードボタンを押せばスタート準備完了。

音楽はなんといってもリズムだ。このつよみでリズムセクションを自由にコントロール。

きみはただ右手でメロイを弾けばいいイメージを追いかけてほしい。ワルツ、スウィング、ロック、ラテンと4つのオートリズムがボタンひとつで。

キーボードが初めての人も気軽に弾けるように、ちょっと小さな鍵盤を採用。とても弾きやすい。

さて、すべてのセクションがスタンバイしたら、この鍵盤を押して演奏開始。押した鍵盤の音をもとに、和音とベース音の伴奏がリズムによって自動的にでてくる。メジャーコードはもちろんマイナーコード、セブンスコードもかんたんにつけてしまう。



Piano

友達にギターなんか持たせてこちらはピアノでプレイしてみようか。ビルの上上がいいかな。



String

どんな家に住みたいですか。海が見える家? 都会の夜景が素敵なお家? 映画音楽が弾きたくなった。

Clarinet

ニューオーリンズでは、街角で演奏している人ももの凄く多い。さすが。



メロイ部は、同時に鳴らせるのは8音までですがオートベースコードを使用しているときは4音まで。

Harpsichord

波のざわめく音も季節によっていろいろな表情をもっているのです。きょうはハープシコードか。



Vibraphone

ちょっと常識的かもしれないけどビブラフォンはやっぱり夜にしみじみとね。



Guitar

空の青さがぼくを泣かしたとき。どうも歌があったけどサステインを効かせたギターも泣けるなあ。

とくにジャズのレコードで、ライブ録音に名盤が多いのはやはり音楽と空気感が密接な関係をもっていることの証明だと思う。いまヤマハがアウトドアビブブルに贈る新感覚のキーボード、ヤマハ・ポータサウンド。乾電池が6本あればどこにでもつれていける。カーバッテリーでも鳴らすことができる。ヤマハのエレクトロニクス技術による、オートベースコードまで装備してエレクトリックなメカニズムを満載。まさしくトラベリング・バンドだ。いまキーボードは部屋を出て自由の空気を吸いにいく。音楽の楽しみ方を変える、ヤマハ・ポータサウンドにご注目。

オートベースコードまでついた凄いやつ。噂のキーボード、ヤマハ・ポータサウンド。

